



| | |
|------------------|---|
| Title | 編集後記 |
| Author(s) | 種村, 剛; 小林, 良彦 |
| Citation | 科学技術コミュニケーション, 29, 131-132 |
| Issue Date | 2021-08 |
| Doc URL | http://hdl.handle.net/2115/82471 |
| Type | bulletin (other) |
| File Information | JJSC29_131-132_Editor'sPostscript.pdf |



[Instructions for use](#)

科学技術コミュニケーション 第29号 編集後記

JJSC29号が完成しました。本号は二つの小特集が組まれているのが特徴です。一つは、新型コロナウイルス感染症の拡大を背景として昨年度一気に進んだ、科学技術コミュニケーションのオンライン化に焦点を当てた小特集「オンラインを用いた科学技術コミュニケーション」です。もう一つは2020年度CoSTEP修了特別プログラムの講演を編んだ「ポストコロナの科学技術コミュニケーション」です。二つの小特集の詳細については、それぞれの序文をご覧ください。前号(冊子刊行2021年3月)・前々号(同2020年8月)では緊急小特集「新型コロナウイルスの感染症の世界的流行と科学技術コミュニケーション」が編まれました。昨年从今年にかけて、私たちが、いかに新型コロナウイルス感染症に振り回されてきたかがわかります。

このように小特集が充実した一方で、今号に採録された投稿原稿は、小特集ノート1報に留まりました。本誌のアドバイザーから継続的にご指摘される、論文の掲載がないことについては、25号以降改善されていません。投稿機会の増加をねらい、前々号から実施している、採録論考の先行pdf公開についても、今号においては、先行公開する機会がありませんでした。その原因の一つは、本誌の論文・報告・ノートが、具体的な実践の記録としての側面よりもむしろ、新しい知見を分析的に導出する「研究」としての側面が強くなりつつあるからかもしれません。

研究と実践、その二つをうまく組み合わせ、互いが互いを支え合い、それぞれが深化していくことが科学技術コミュニケーションの展開のためには肝要であると考えています。本誌がそのためのメディアとなるように、編集方針を含め、今後努めていくことを目標としています。

種村 剛 (編集長)

JJSC29号より副編集長となりました。JJSCが科学技術コミュニケーションの発展に寄与するジャーナルであり続けられるよう、副編集長の仕事に取り組んでいきたいと思っております。

さて、昨年から続く、新型コロナウイルス感染症の流行が尾を引いています。新型コロナウイルス感染症に関する科学技術コミュニケーションの模索が続く中、副産物のような形でオンラインによる科学技術コミュニケーションも急速に進みました。本号で組まれた二つの小特集はそれらに対応するものでした。

小特集「オンラインを用いた科学技術コミュニケーション」では、計6つの報告・ノートが掲載されました。それらは、実践者、対象者、規模、テーマといった側面が異なる実践の記録となっています。オンラインによる実践は今後も続いていくと予想されます。今回の小特集は、今後の実践への貴重な参考資料でもあります。そして、これからの実践についても、記録や知見の蓄積・共有が求められます。

小特集「ポストコロナの科学技術コミュニケーション」では、2020年度CoSTEP修了特別プログラムの講演録が掲載されました。新型コロナウイルス感染症対策の最前線で活躍されている西浦・岸田両氏の講演、また、松王氏の総括からは今後の科学技術コミュニケーションの示唆を得られました。新型コロナウイルス感染症に関する科学技術コミュニケーションについても、引き続き研究が望まれます。

科学技術コミュニケーションは社会問題と共に歩みを進めているように感じます。新型コロナウイルス感染症の騒動は科学技術コミュニケーションのさらなる発展のチャンスでもあります。今後も、新型コロナウイルス感染症関連やオンラインによる実践についての積極的な投稿をお待ちしております。

小林 良彦 (副編集長)

編集委員会委員

池田 貴子 奥本 素子 川本 思心 工藤 充
小林 良彦(副編集長) 杉浦真由美 種村 剛(編集長) 朴 炫貞
古澤 輝由

編集委員会補佐

梶井 宏樹 原 健一

アドバイザー

加納 圭 滋賀大学 教育学部 教授
竹田 宜人 北海道大学 大学院工学研究院 客員教授

本誌は、北海道大学学術成果コレクション (<https://eprints.lib.hokudai.ac.jp/>) に登録されています。このURLにより、オンライン版を無料で読むことができます。元の原稿においてカラーで作成された図表類は、オンライン版ではカラーのまま掲載しています。投稿規定や執筆要領は、本誌のウェブサイト (<http://costep.open-ed.hokudai.ac.jp/jjsc/>) に掲載しています。

『科学技術コミュニケーション』第29号

Japanese Journal of Science Communication, No. 29

2021年8月発行

編 者 『科学技術コミュニケーション』編集委員会
<http://costep.open-ed.hokudai.ac.jp/jjsc/>
<https://www.facebook.com/jjsc.jp/>

発 行 者 北海道大学 高等教育推進機構 オープンエデュケーションセンター
科学技術コミュニケーション教育研究部門 (CoSTEP)
060-0817 札幌市北区北17条西8丁目
<http://costep.open-ed.hokudai.ac.jp/>

ISSN 1881-8390
